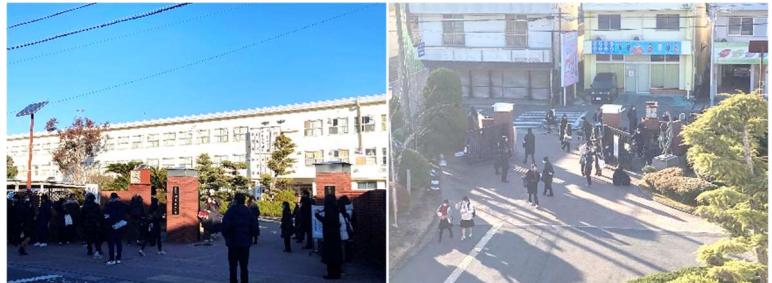




2025年スタート!! ~一年の計は元旦にあり~

昨年、2024年は1月1日の能登半島地震や翌1月2日の羽田空港で航空機同士の衝突事故の発生など、「今年はどんな年になるのだろう」と感じさせられた1年の始まりでした。また、8月には宮崎県沖を震源とする地震により「南海トラフ地震臨時情報」も初めて発表され、今年に入り南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率が「70%～80%」から「80%程度」に引き上げられ、いつ発生してもおかしくないとも言われています。

さて、1月18日（土）、19日（日）に本校も会場の1つとして「大学入学共通テスト」が実施されました。20日（月）の自己採点を経て、3年生はいよいよ進路選択の最終段階に入ってきました。これまで、保護者や先生、友達など関わってくれた方々から進路について様々なアドバイスをしてもらったと思いますが、最終的に決断するのは自分自身です。自分自身が十分納得した上で自分の進路を決断してほしいと思います。



正月、「一年の計は元旦にあり」という言葉をよく見たり、聞いたりします。充実した一年を送るためには、一年の初めに目標や計画を立てて、努力することが大切である」という意味です。

皆さんは、2025年のスタートを切るにあたり、どのような目標、どのような計画を立てましたか？3年生は、高校生活の締めくくりであると同時に、新たな社会に新しい一歩を踏み出す年でもあります。まずは3月までの締めくくりに向けて、そして、4月からの新生活に向けて、また、1・2年生は、まずは3月末までの学年の締めくくりと新学年への準備に向けて、4月からの新学年をイメージした目標と計画を具体的に立て取り組んでください。ただ、自分が立てた計画どおりに取り組んでいても、うまく進められないこともあります。そんなときは、目標や計画を途中で修正することも構いません。その時は、何がうまくいかなかったのか、どこに無理があったのかをしっかりと見てから修正するようにしてください。

私（教頭）の好きな言葉のひとつが「備えあれば憂いなし」です。

学校で避難訓練を実施した時のマンスリータイムズはこのタイトルで書かせていただきました。生徒の皆さん、まだ生まれていない時のこと、ニュースなどでしか知らないと思いますが、今月17日、阪神淡路大震災から30年目を迎えるました。当時23歳の私の脳裏に焼き付いているのが、倒壊した高速道路から車体の前方部分が落ちかけた状態の大型バスの映像とテレビ画面の片隅で増え続ける犠牲になった方々の人数でした。あの日から30年経過した今も兵庫県の各地で行われている追悼式典を見て、改めて、東南海巨大地震に対する備えをしなければならないと思いました。

この「備え」は決して自然災害に対してだけのものではありません。皆さんはこれまでの生活の中で様々な事に対して「備え」をしてきたことと思います。入試、定期考査や模擬試験に向けての勉強も「備え」のひとつです。また、部活動では大会や発表会に向けての練習も、修学旅行や家族旅行に行く前に荷造りするのも「備え」です。でも、どんなに備えていても、いざ本番には想定外のことは起こるものです。「勉強していたけど、思っていたよりも難しい問題が出た。」「練習していたけれど、相手が予想以上に強かった。」等々。そんな想定外の事が起こることがあっても、「やっても無駄」とは思わず、自分にできる限りの備えをしてきたと思います。その「備え」のポイントは、より具体的に本番をイメージすることです。そうすることにより、より具体的な備えができるはずです。限られた時間の中でしっかりと情報を収集し、本番に備えるようにしてください。そうすることで、不安や心配事を完全に無くすことはできないかもしれません、少しでも減らすことができるのではないでしょうか。